

トーク形式の第1回、第2回は、
KIRI CAFE特製「朝ごはん」付き。
地域の旬なもの、採れたての野菜
を味わう、一汁三菜のプレートをご
提供します。

『みどりのテーブル』がどこでも聞けるポッドキャストアカウントを開設します。
トーク形式の『みどりのテーブル』アーカイブを中心にSpotifyで随時配信します。
9月頃配信スタート。

かめおか霧の芸術祭
Kameoka KIRI Art Cultivation



Program List

プログラム一覧

ジャンル	プログラムタイトル／ゲスト講師	開催日時／会場	参加費
《環境》	「公園ってなんだろう？」 山崎 亮（studio-L 代表） 村田周一（高野ランドスケーププランニング株式会社代表取締役）	9月15日（月・祝） 9:30～11:00 － KIRI CAFE	1,500 円 （朝ごはん付き）
《芸術》	「小屋ができることについて聞こう」 家成俊勝（dot architects） 安川雄基（農小屋学会）	11月24日（月・祝） 9:30～11:00 － KIRI CAFE	1,500 円 （朝ごはん付き）
《食農》	「冬の山の恵みを味わおう」 中東久人（日本料理人・美山荘 4 代目当主）	12月7日（日） 9:30～12:00 － KIRI CAFE	3,000 円
《環境》	「竹に触れてつくろう」 大野 宏（Studio on_site 代表／建築家）	2026 年 1 月 17 日（土） 13:00～17:30 － 開かれたアトリエ	2,000 円

※プログラム内容は予告なく変更する場合がございます。
※お申し込みは全て専用フォームより。

Venue 会場



1. KIRI CAFE

〒621-0004
京都府亀岡市千歳町毘沙門向畑39

アクセス方法：
JR 亀岡駅より徒歩で 40 分。
JR 亀岡駅より車で約 7 分。※専用駐車場有り（無料）。
JR 亀岡駅より [京阪京都交通バス] で約 10 分。
〔JR 亀岡駅北口 [川東線 F11] JR 千代川駅行] で「毘沙門」下車から徒歩 2 分）
※バスの出発時刻は、あらかじめご確認のうえお越しください。

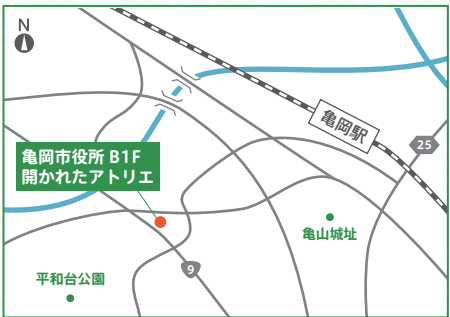
【バスのご案内】
[川東線 F11] JR 亀岡駅北口 8:55 分発
→「毘沙門」9:02 着 下車から徒歩 2 分。



2. 開かれたアトリエ

〒621-8501
京都府亀岡市安町野々神 8 亀岡市役所地下 1 階

アクセス方法：
JR 亀岡駅から徒歩 15 分。
JR 亀岡駅からコミュニティバスで 5 分「市役所」下車。
路線バス（京阪京都交通）で「亀岡市役所前」下車。
亀岡 I.C から車で 5 分。
※バスの出発時刻は、あらかじめご確認のうえお越しください。



第1回

《環境》

プログラムタイトル：

「公園ってなんだろう？」

ゲスト講師：
山崎 亮 × 村田周一

第1回はわたしたちの身近にある「公園」について考えます。
ゲストは各地で住民参加型のコミュニティデザインを行う山崎亮さん、そして現在、亀岡駅北側の京都・亀岡保津川公園づくりに携わる村田周一さん。お二人がこれまで全国で手がけてきた事例を交えながら、「公園」という空間が私たちの暮らしとどのように結びつき、どのような可能性を持つのか探っていきます。

お申込み
申込締切：9月12日（金）23:59まで
申込方法：下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/7YuxYBaXHZNrE8Ht8>



山崎 亮（studio-L 代表）

1973 年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士（工学）。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005 年に studio-L を設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。



村田周一（高野ランドスケーププランニング株式会社代表取締役）

2002 年高野ランドスケーププランニング株式会社入社。2011 年より現職。JLAU 理事。
北海道を拠点に、自然を愛し人の力を信じ、新たなランドスケープ空間づくりや取り組みを多くの人を巻き込みながら実践中。美しく気持ちのよいランドスケープと共にある Activity や暮らしを日々妄想しながら、地球人として未来に責任を持ち設計や計画に従事。主なプロジェクトは「十勝千年の森」「恵庭花の拠点 はなふる」など。

第3回

《食農》

プログラムタイトル：

「冬の山の恵みを味わおう」

ゲスト講師：
中東久人

長年にわたり自然に寄り添った料理を続けてきた料理人の中東久人さんをゲストに迎え、季節の恵みを味わう料理を体験します。今回のメイン食材は「ジビエ」。当日は猟師の方も参加予定。調理だけでなく、食材のルーツや狩猟の現在についても学びます。完成した料理は、皆でテーブルを囲んで味わいます。

お申込み
申込締切：12月1日（月）23:59まで
申込方法：下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/LmfP8W5BonxxieLJ6>



中東久人（日本料理人・美山荘 4 代目当主）

京都の奥座敷・花背の料理旅館「美山荘」の四代目当主。
1969 年京都生まれ。高校卒業後、ブラッドフォード大学（米国）、パリ大学（仏）でホテル経営学を学ぶ。三ツ星レストランなどでホール修業を積み、ガストロノミーを学ぶ。帰国後は金沢の日本料理店での修業を経て、家業の美山荘を継ぐ。
国内外で日本料理推進事業を行い、和食の無形文化遺産登録の立ち上げの一人として、和食の発展・グローバル化に貢献。
NHK ぎょうの料理などメディアを通じて家庭での和食の普及も行う。近年は地元である花背の地域創生プロジェクトを京都の大学・大学生たちと取り組んでいる。

3

第2回

《芸術》

プログラムタイトル：

「小屋ができることについて聞こう」

ゲスト講師：
家成俊勝 × 安川雄基

畑に佇む農機具小屋、その必要に迫られてつくられた「小屋」たちは、機能や使い手の技・知恵が詰まっています。第2回は建築家の家成俊勝さん、空間デザイナーの安川雄基さんをゲストに迎え、芸術・建築・コミュニティなどの視点から、小屋ができることを考えます。実際に亀岡で行った小屋の調査や、新たに亀岡で始まる「小屋プロジェクト」についても伺います。

お申込み
申込締切：11月21日（金）23:59まで
申込方法：下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/u3WMEW3MvoRuomYx7>



家成俊勝（dot architects）

1974 年兵庫県生まれ。建築家。京都芸術大学教授。宮本佳明建築設計事務所居候を経て、2004 年 dot architect を設立。アート、オルタナティブメディア、建築、地域研究、NPO などが集まるコーポ北加賀屋を拠点に活動。第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展（2016）にて審査員特別表彰を受賞（日本館出展作家）。第2回小嶋一浩賞受賞。



安川雄基（農小屋学会）

1987 年大阪府吹田市生まれ。2011 年アトリエカフエ設立。「空間づくりとコトづくり」をテーマに、建築設計・インテリアデザイン・展示構成・施工・家具製作から、ワークショップ企画・まちづくり事業参画など、ハードとソフトを行き来しながら活動。いろいろな技を持った人たちと協働しながら、小さなものから大きなものまでつくる日々を送っている。2022 年より京都芸術大学専任講師。

2

第4回

《環境》

プログラムタイトル：

「竹に触れてつくろう」

ゲスト講師：
大野 宏

土地にある「もの」とそこにいる「ひと」と共に、家具や建築から暮らしをつくってきた建築家の大野宏さんをゲストにお迎えします。今回は亀岡の「竹」について学びながら、「全国都市緑化フェア in 京都丹波」の入り口として使用する竹ゲートのミニゲートをみんなでつります。完成したミニゲートは緑化フェアにも設置します。会場での組み立てもぜひ一緒にしましょう。

お申込み
申込締切：2026 年 1 月 14 日（水）23:59まで
申込方法：下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/HAW8omxrAa2G3SjP7>



大野 宏（Studio on_site 代表／建築家）

1992 年生まれ。2018 年滋賀県立大学博士後期課程単位取得退学。2019 年より特定非営利活動法人 Studio on_site 設立。土地の「ひと」と「もの」で建築をつくる建築家。全国各地で放置竹林をなんとかしたいという声を聞き、竹専用接合部「OKINA」を開発し、様々な地域で活動中。2025 年開催中の大阪・関西万博で建築を設計する若手建築家としても選出されている。

4

2026 年

1/17（土）

13:00～17:30
（12:45 開場）

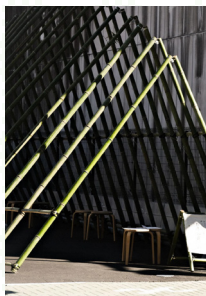
会場 開かれたアトリエ

定員 15 名 ※先着順

参加費 2,000 円

持ち物 軍手、汚れてもいい服装

対象年齢 小学生以下は保護者同伴



*竹ゲートのイメージ